

米の価格上昇に対する考えは「納得していないがやむを得ない」が約5割
～家庭における米の購入量は「変化していない」が最多、「減少」は約2割～
＜消費者動向調査（令和7年1月調査）特別調査：米の購入について＞

日本政策金融公庫農林水産事業は、「消費者動向調査（令和7年1月調査）」を実施し、特別調査として、米の購入について調査しました。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

○価格上昇に対する考えは「納得していないがやむを得ない」が約5割と最多

米不足が話題となった令和6年8月以降の米の価格上昇に対する消費者の考えは、「価格上昇には納得していないがやむを得ない」（46.1%）が最も高く、次いで「価格上昇は厳しいが納得している」（28.1%）、「大きな影響はなく気にしていない」（14.5%）、「価格上昇は受け入れられない」（11.3%）の順となりました。

○家庭における米の購入量は「変化していない」が最多、「減少」は約2割

令和6年秋（新米が出回った時期）以降の家庭における米の購入量が、米不足が話題となる前（令和6年7月以前）と比較して変化したかを尋ねたところ、「変化していない」（64.7%）が最も高くなりました。米の価格上昇に対する考え別では、「価格上昇は受け入れられない」と回答した方を含め、すべての考えの方において「変化していない」が最多となりました。米の購入量が「減少した」と回答した割合は16.6%となりました。

○価格上昇に納得する理由は「米を食べることが習慣になっているから」が約4割

米の価格上昇に対して「大きな影響はなく気にしていない」、「価格上昇は厳しいが納得している」と回答した方にその理由を尋ねたところ、「米を食べることが習慣になっているから」（42.5%）が最も高く、次いで「米を食べることが好きだから」（35.5%）、「物価上昇により米以外の他のものの値段も上昇しているから」（28.4%）、「米の生産に必要なコストが上昇しているから」（27.7%）の順となりました。

○米を購入する際の決め手は「価格」「銘柄」「産地」の順

米を購入する際の決め手は「価格」が65.6%と最も高く、次いで「銘柄」（39.0%）、「産地」（29.2%）の順となりました。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

消費者動向調査（令和7年1月）

～米の購入について～

～目次～

I.米を食べる頻度	P 3
II.令和6年秋以降の家庭における米の購入量	P 4～ 5
III.令和6年秋以降の家庭における米の保管量	P 6
IV.米を購入する際の決め手	P 7
V.米をどのように購入しているか	P 8
VI.令和6年8月以降の米の価格上昇に対する考え	P 9～12
VII.米の生産者に期待すること	P13～14

○調査概要

- 調査時期：令和7年1月
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：全国の20歳代～70歳代の男女2,000人（男女各1,000人）

※インターネット調査であるため、回答者はインターネット利用者に限られる。

※図表に表示している構成比は小数点第2位以下を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合や、構成比の内訳の合計が100%にならない場合がある。

○回答者数の内訳

年代	回答者数
20代	277
30代	291
40代	367
50代	390
60代	322
70代	353
合計	2,000

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部（担当：黒川、垣尾） TEL：03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

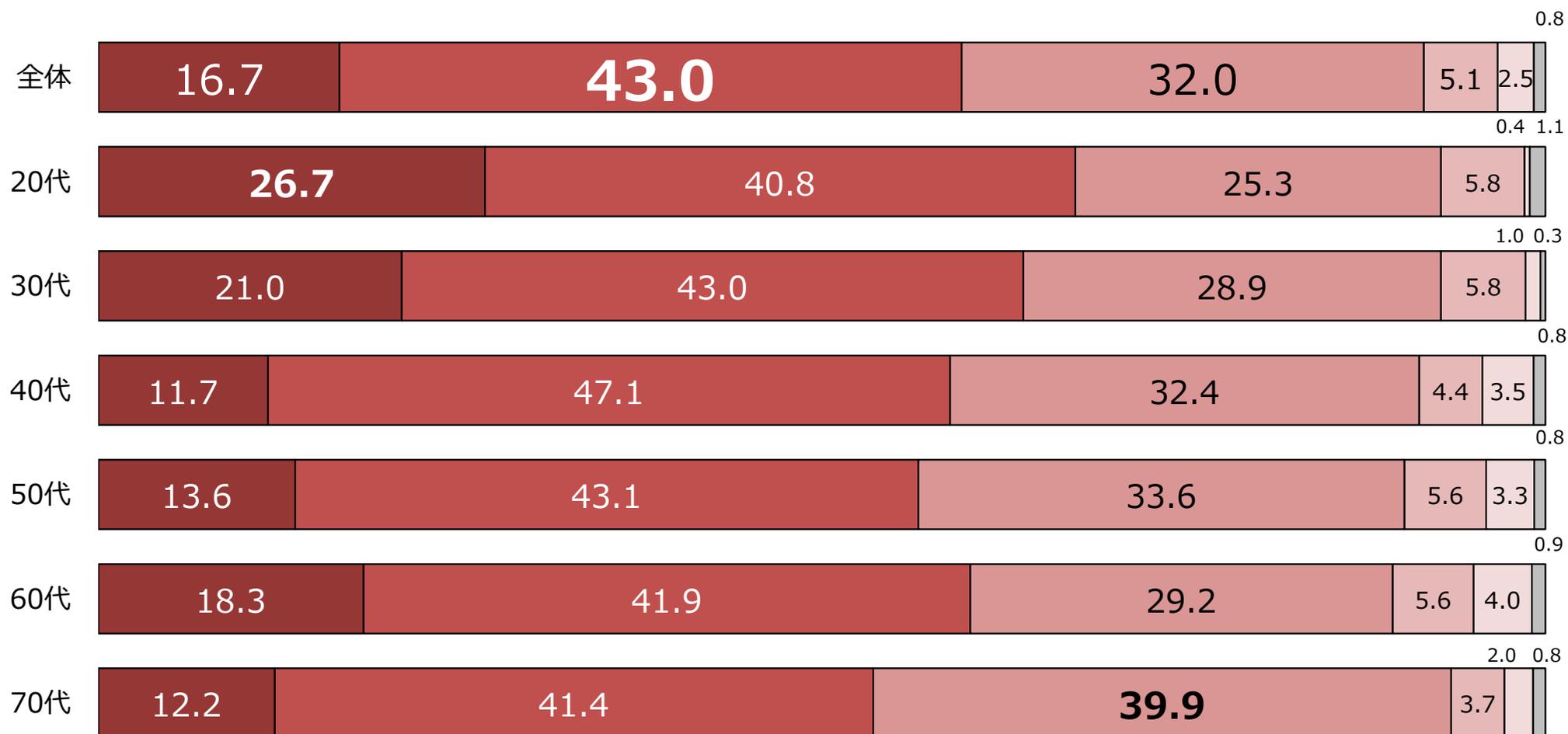
I .米を食べる頻度

- ・米を食べる頻度は、「1日2食」(43.0%)が最も高くなった。
- ・年代別では、「1日3食」は20代で最も高く、「1日1食」は70代で最も高くなった。

【年代別】

(単一回答、%)

■ 1日3食 ■ 1日2食 ■ 1日1食 ■ 2~3日に1食 □ 週に1食以下 □ 米は食べない



Ⅱ. 令和6年秋以降の家庭における米の購入量

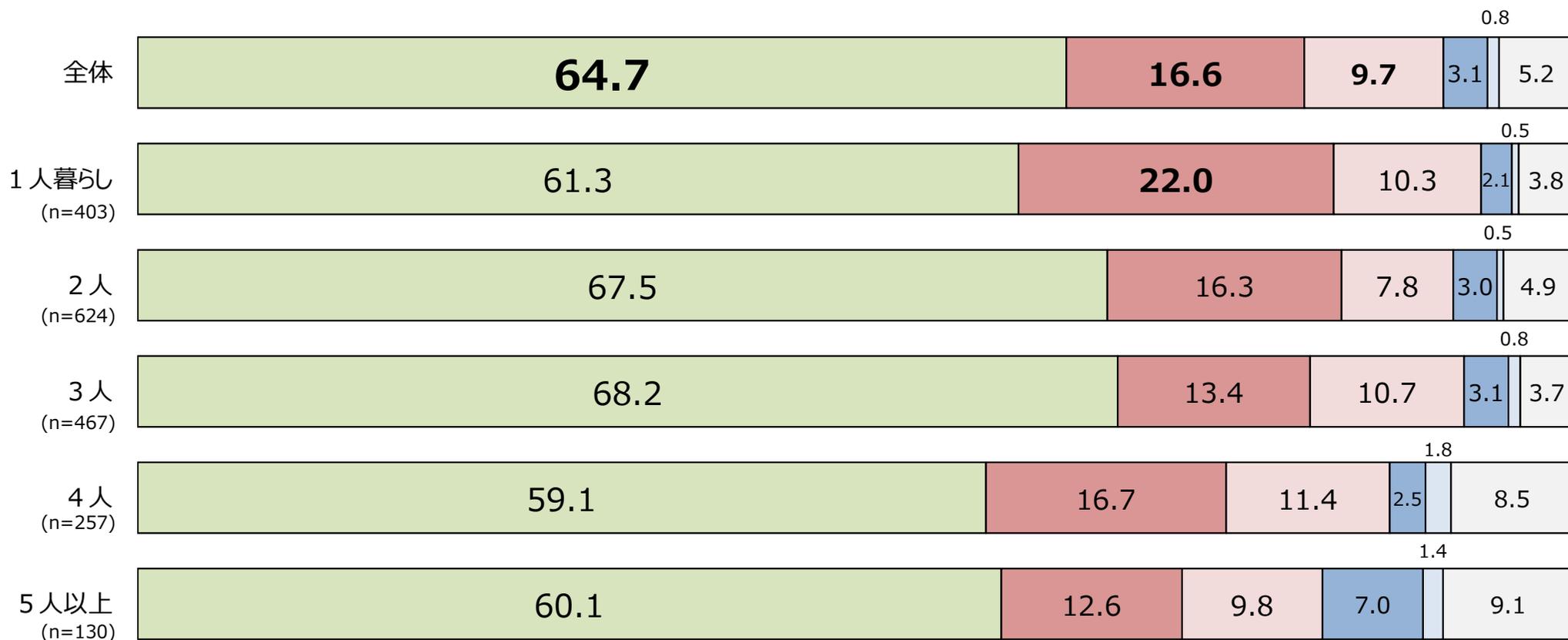
Ⅱ-1. 令和6年秋以降の家庭における米の購入量

- ・令和6年秋（新米が店頭に並び始めた時期）以降、家庭における米（パックご飯や調理済の商品を除く）の購入量が令和6年7月以前（米不足が話題となる前）と比べて変化したかを尋ねたところ、「変化していない」（64.7%）が最も高く、次いで「減少した」（16.6%）、「一時的に減少したがもどに戻した」（9.7%）の順となった。
- ・同居家族人数別では、「減少した」と回答した割合は「1人暮らし」の世帯で最も高くなった。

【同居家族人数別】

（単一回答/「米は食べない」と回答した方以外、%）

□ 変化していない □ 減少した □ 一時的に減少したがもどに戻した □ 増加した □ 一時的に増加したがもどに戻した □ 無償で入手している



Ⅱ. 令和6年秋以降の家庭における米の購入量

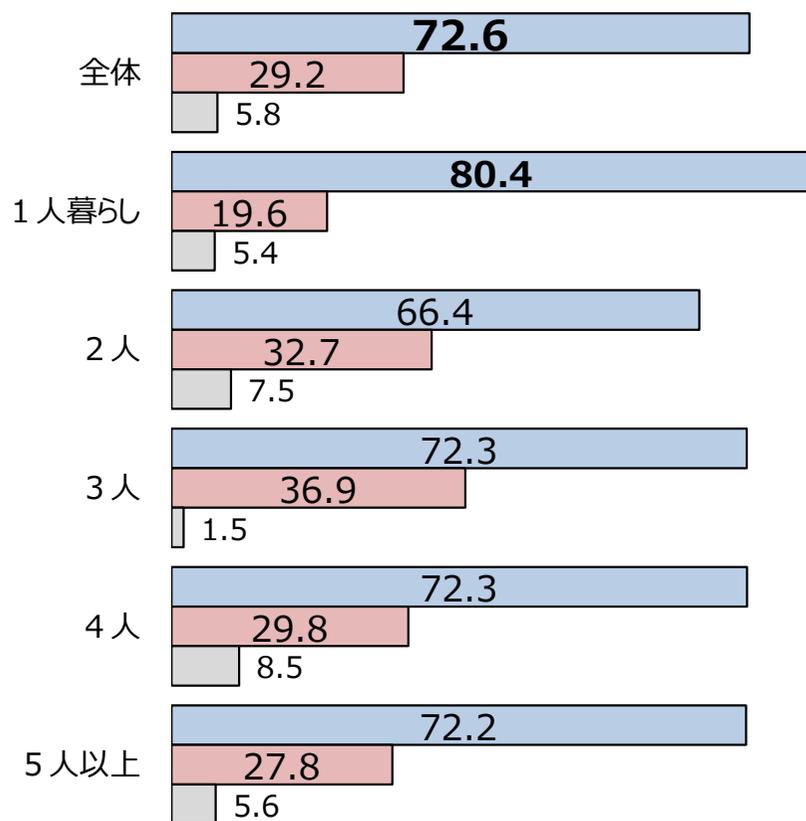
Ⅱ-2. 購入量減少の内訳と代替食品

- ・家庭における米の購入量が「減少した」と回答した方に、減少がどのような形で生じたか尋ねたところ、「米を食べる頻度を減らした」（72.6%）が最も高くなった。
- ・同居家族人数別では、1人暮らし世帯において「米を食べる頻度を減らした」が他の家族構成よりも高くなった。
- ・米を減らした代わりに食べる量や頻度を増やした食品があるか尋ねたところ、「めん類」（60.8%）が最も高く、次いで「パン」（54.1%）の順となった。

<減少がどのような形で生じたか>

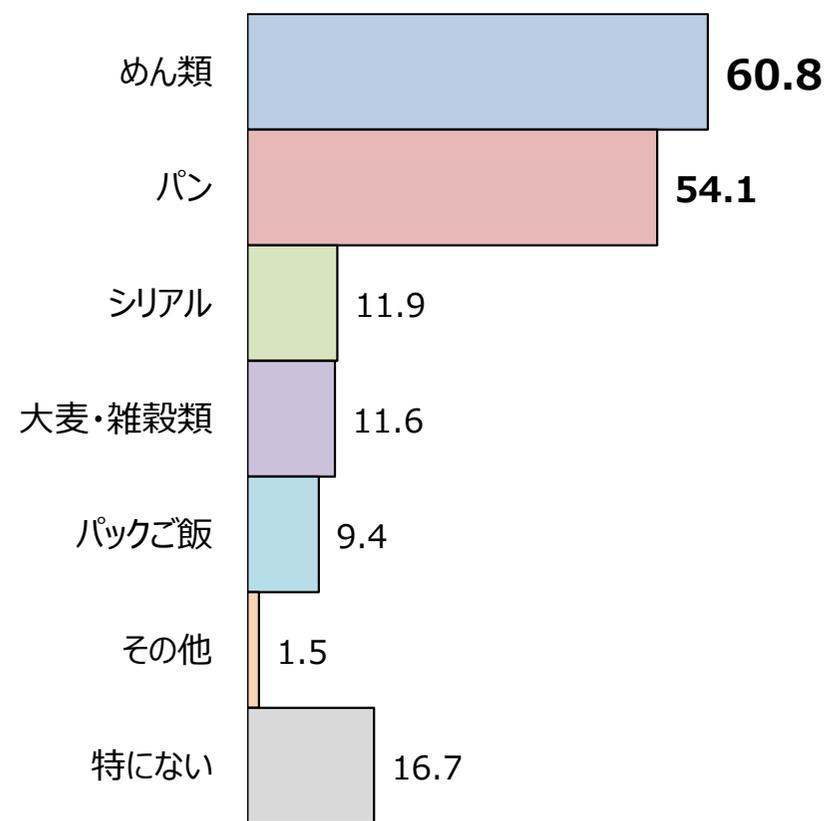
【同居家族人数別】（複数回答/購入量が「減少した」と回答した方、%）

■米を食べる頻度を減らした ■1食当たりの量を減らした □その他



<米を減らした代わりに食べる量や頻度を増やした食品>

（複数回答/購入量が「減少した」と回答した方、%）

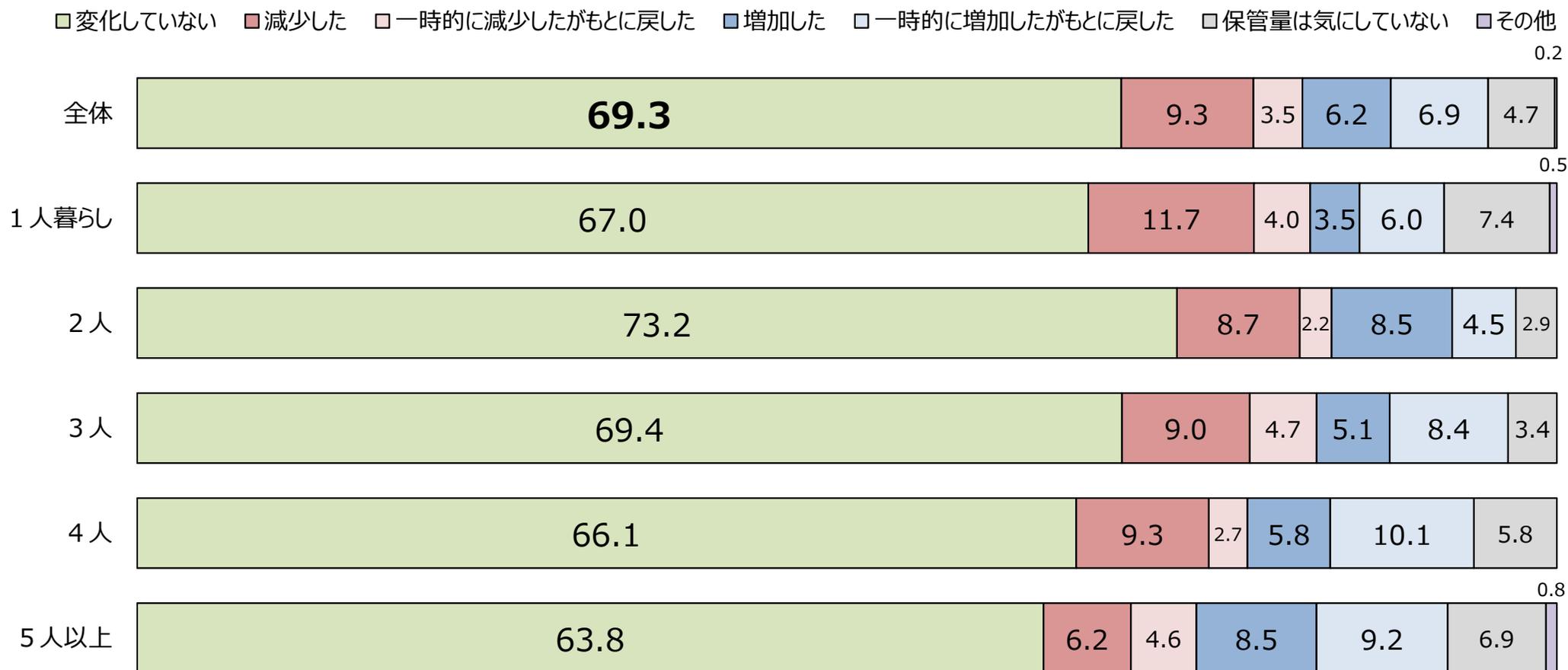


Ⅲ.令和6年秋以降の家庭における米の保管量

・昨年秋以降、家庭における米の保管量が令和6年7月以前と比べて変化したかを尋ねたところ、「変化していない」(69.3%)が最も高く、次いで「減少した」(9.3%)、「一時的に増加したがもどに戻した」(6.9%)の順となった。

【同居家族人数別】

(単一回答/「無償で入手している」と回答した方以外、%)



IV.米をどのように購入しているか

- ・米をどのように購入しているかについては、「スーパーや生協の店舗で購入」（69.2%）が最も高く、次いで「農家から直接購入」（17.2%）、「ドラッグストアで購入」（16.5%）の順となった。
- ・地域別では、東北と中国において、「農家から直接購入」と回答した割合が他の地域と比べて高くなった。

【地域別】

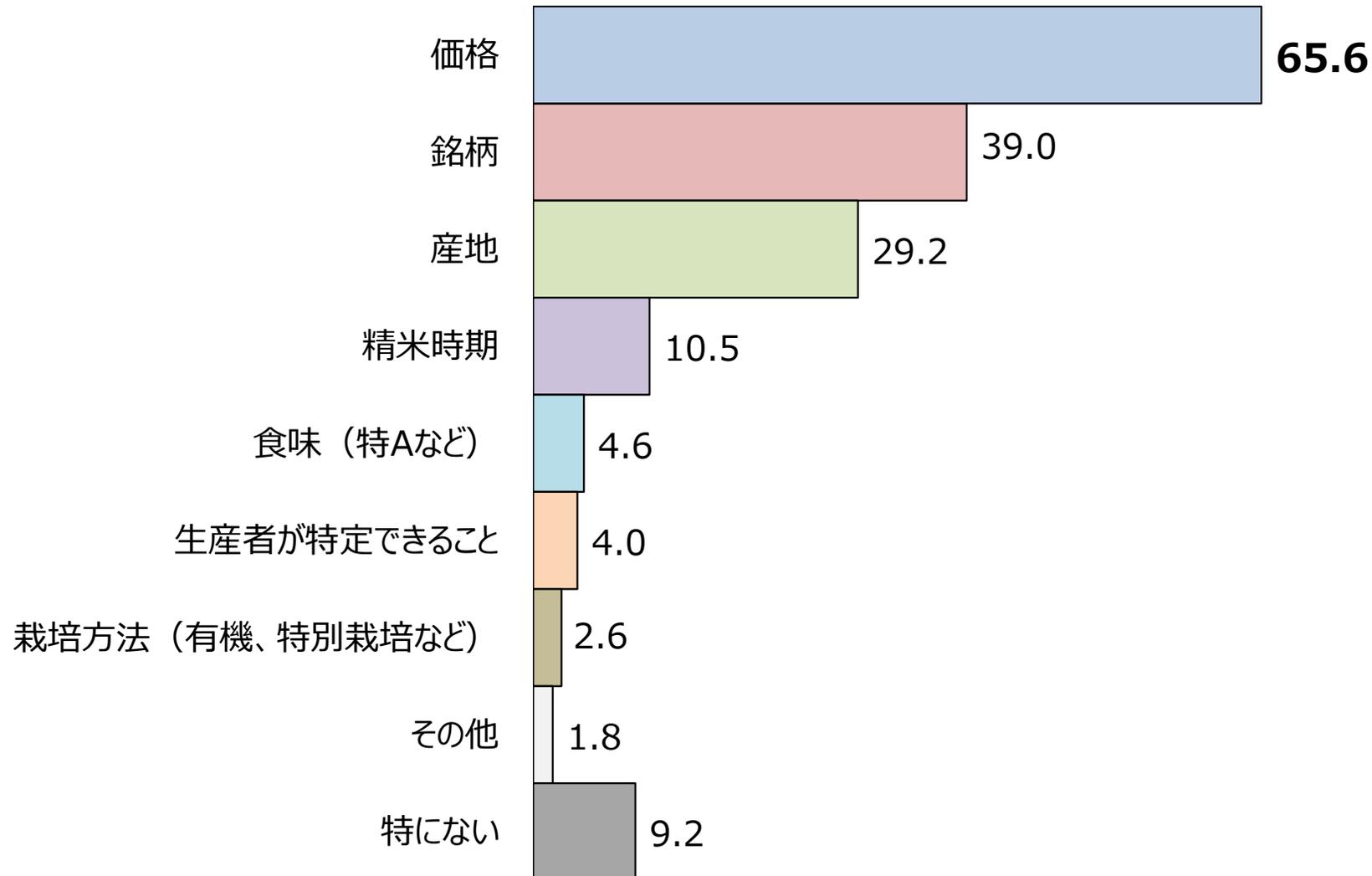
（複数回答/「無償で入手している」と回答した方以外）



V.米を購入する際の決め手

・米を購入する際、どのようなことが決め手になっているかを尋ねたところ、「価格」(65.6%)が最も高く、次いで「銘柄」(39.0%)、「産地」(29.2%)の順となった。

(2つまで回答/「無償で入手している」と回答した方以外、%)



VI.令和6年8月以降の米の価格上昇に対する考え

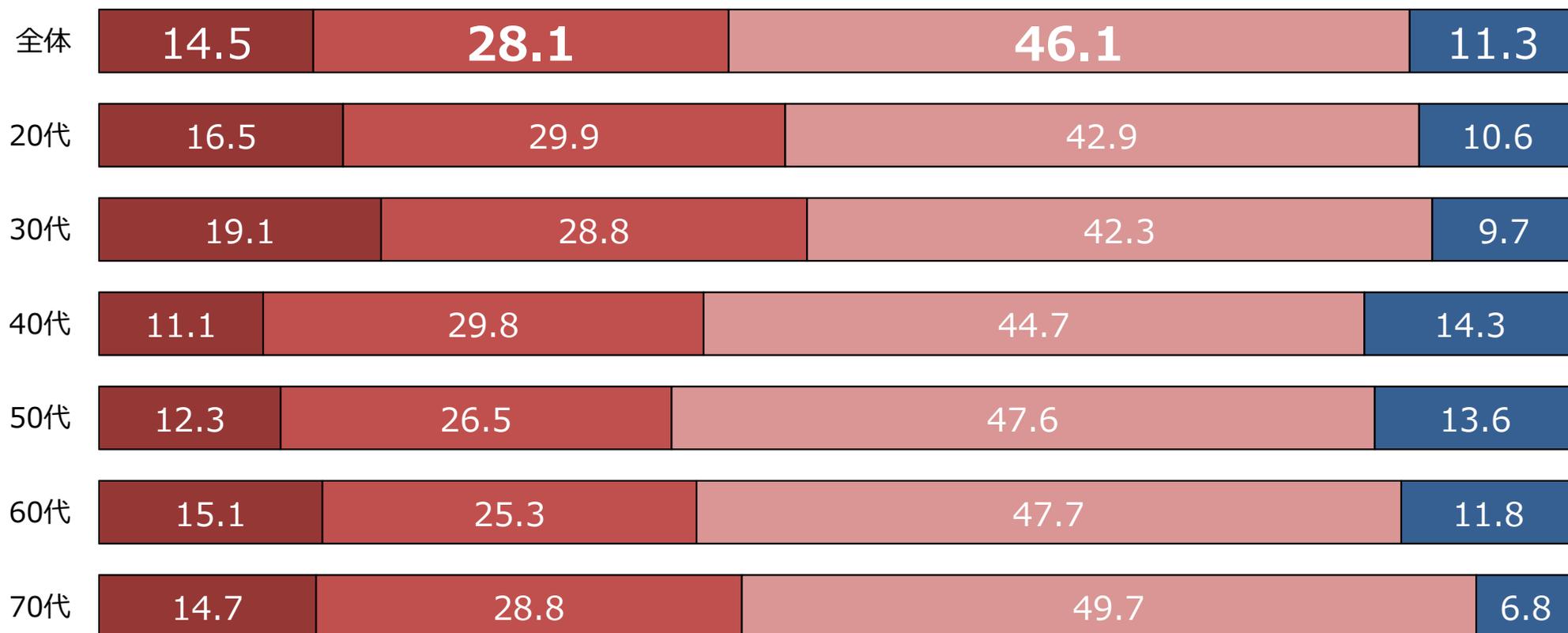
VI-1.令和6年8月以降の米の価格上昇に対する考え

・令和6年8月（米不足が話題となったころ）以降の米の価格上昇に対する考えは、「価格上昇には納得していないがやむを得ない」（46.1%）が最も高く、次いで「価格上昇は厳しいが納得している」（28.1%）となった。

【年代別】

（単一回答/「無償で入手している」と回答した方以外、%）

- 大きな影響はなく気にしていない
- 価格上昇は厳しいが納得している
- 価格上昇には納得していないがやむを得ない
- 価格上昇は受け入れられない



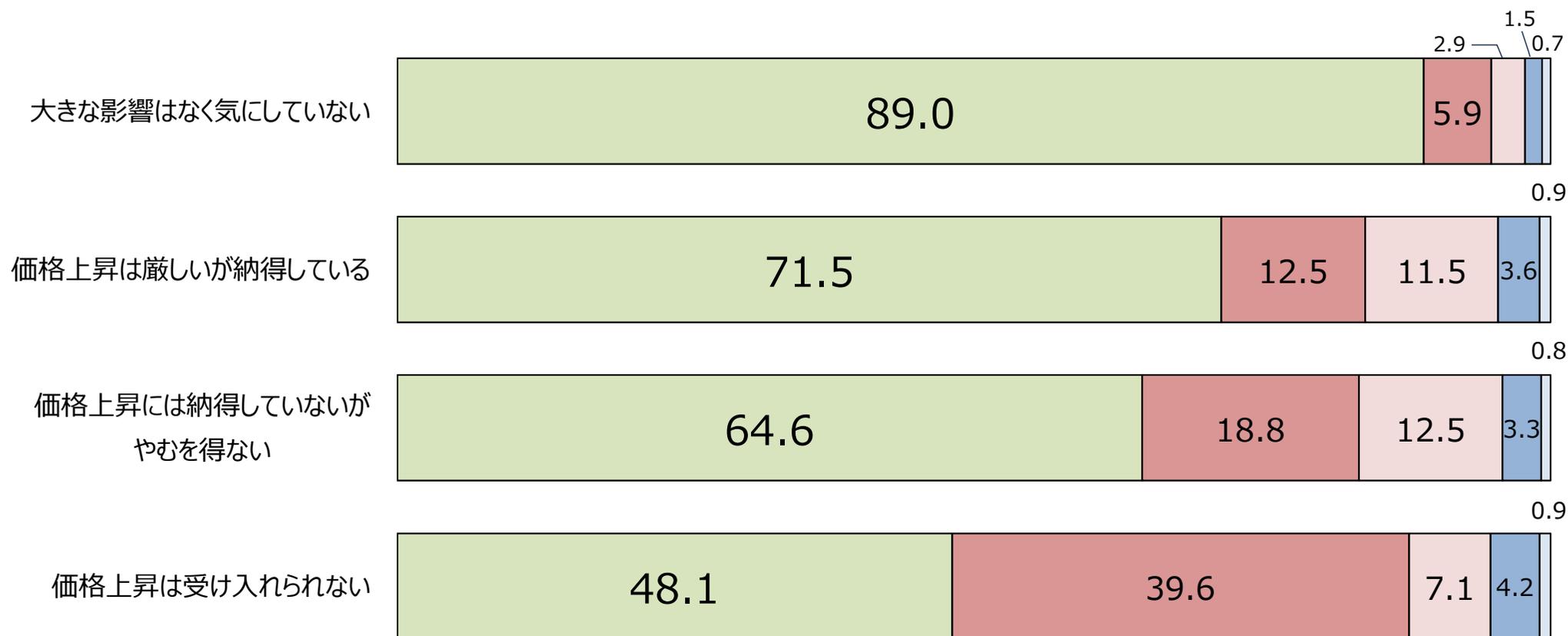
VI. 令和6年8月以降の米の価格上昇に対する考え

VI-2. 米の価格上昇に対する考えと購入量の変化

・令和6年秋以降の家庭における米の購入量を、米の価格上昇に対する考え別に分類すると、いずれにおいても「変化していない」が最多となった。

(単一回答/「無償で入手している」と回答した方以外、%)

□ 変化していない ■ 減少した □ 一時的に減少したがもどりに戻した ■ 増加した □ 一時的に増加したがもどりに戻した

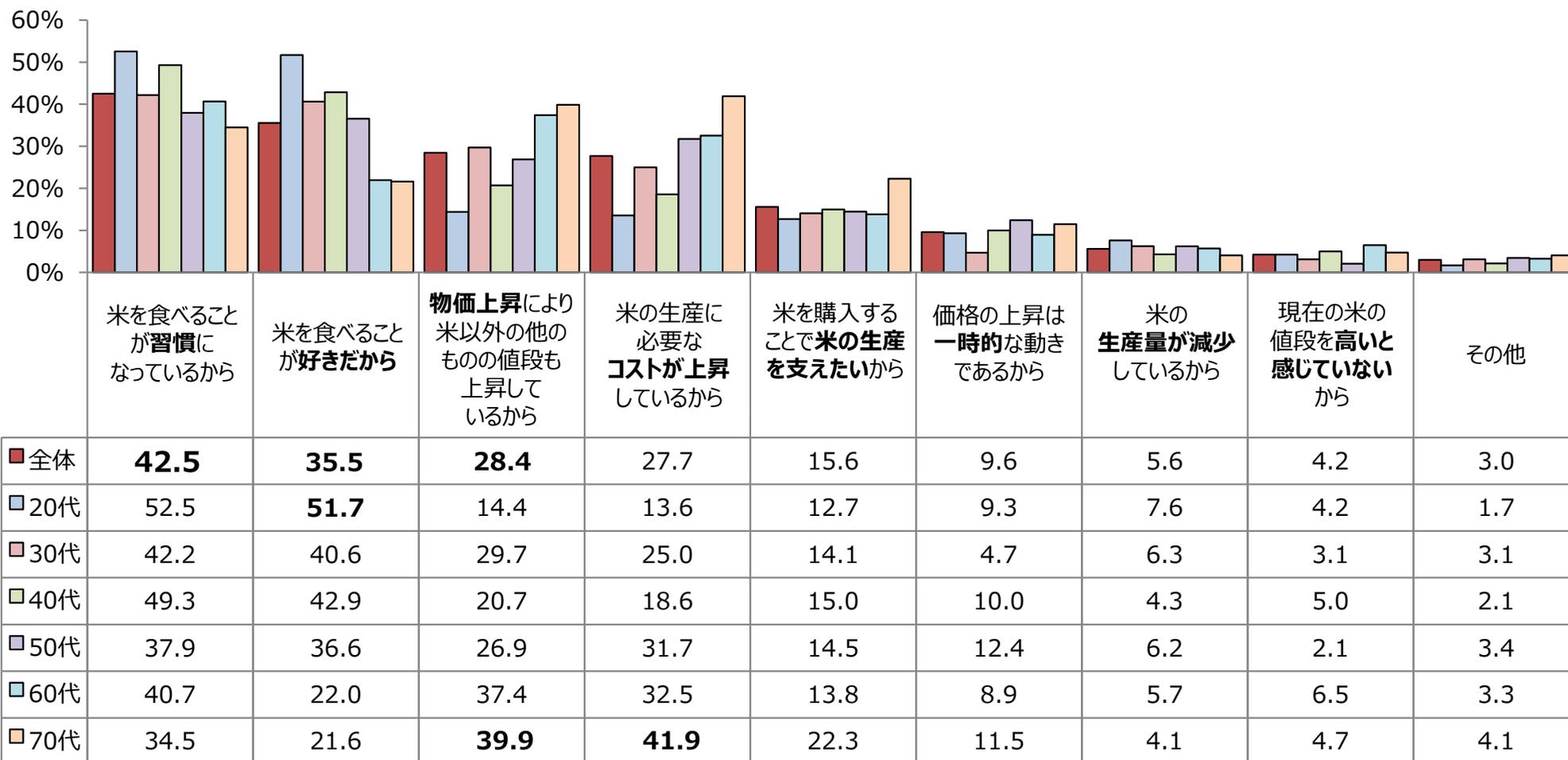


VI. 令和6年8月以降の米の価格上昇に対する考え

VI-3. 米の価格上昇を「気にしていない」「納得している」理由

- 『大きな影響はなく気にしていない』、『価格上昇は厳しいが納得している』と回答した方にその理由を尋ねたところ、「米を食べることが習慣になっているから」（42.5%）とした割合が最も高く、次いで「米を食べることが好きだから」（35.5%）、「物価上昇により米以外の他のものの値段も上昇しているから」（28.4%）の順となった。
- 年代別では、20代の「米を食べることが好きだから」、70代の「米の生産に必要なコストが上昇しているから」、「物価上昇により米以外の他のものの値段も上昇しているから」が他の年代と比べて高くなった。

（2つまで回答/「大きな影響はなく気にしていない」「価格上昇は厳しいが納得している」と回答した方）



VI. 令和6年8月以降の米の価格上昇に対する考え

VI-3. 米の価格上昇を「気にしていない」「納得している」理由

- ・米の価格上昇を『大きな影響はなく気にしていない』、『価格上昇は厳しいが納得している』としたそれぞれの回答者の理由をみると、いずれにおいても「米を食べることが習慣になっているから」が最も多くなった。
- ・米の価格上昇を『価格上昇は厳しいが納得している』とした方と『大きな影響はなく気にしていない』とした方と比較すると、「米の生産に必要なコストが上昇しているから」および「物価上昇により米以外の他の物の値段も上昇しているから」と回答した割合は『価格上昇は厳しいが納得している』とした方のほうが高くなった。

【価格上昇に対する考え別】

(2つまで回答/「大きな影響はなく気にしていない」「価格上昇は厳しいが納得している」と回答した方、%)

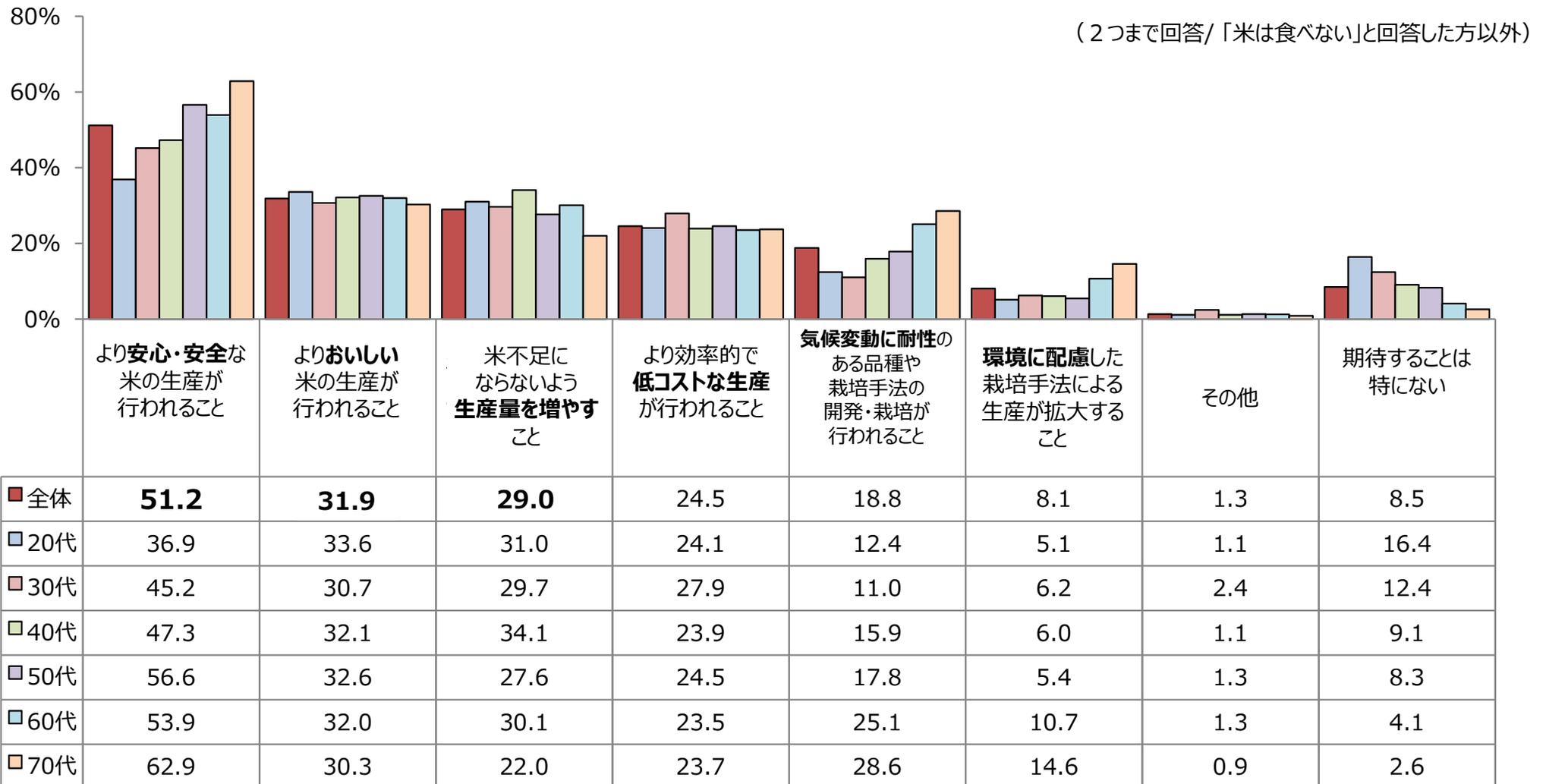
	大きな影響はなく気にしていない	価格上昇は厳しいが納得している
米を食べることが習慣になっているから	41.8	42.9
米を食べることが好きだから	36.3	35.2
物価上昇により米以外の他のものの値段も上昇しているから	18.7	33.5
米の生産に必要なコストが上昇しているから	12.5	35.5
米を購入することで米の生産を支えたいから	8.1	19.5
価格の上昇は一時的な動きであるから	15.4	6.6
米の生産量が減少しているから	2.6	7.2
現在の米の値段を高いと感じていないから	8.8	1.9
その他	7.7	0.6

【米を食べる頻度別】

	1日3食	1日2食	1日1食	2～3日に1食	週に1食以下
米を食べることが習慣になっているから	56.1	48.4	31.9	18.9	8.3
米を食べることが好きだから	43.9	38.7	28.9	24.3	16.7
物価上昇により米以外の他のものの値段も上昇しているから	23.6	30.1	26.4	51.4	20.8
米の生産に必要なコストが上昇しているから	21.7	27.8	31.9	27.0	25.0
米を購入することで米の生産を支えたいから	8.9	16.6	20.0	8.1	12.5
価格の上昇は一時的な動きであるから	5.1	8.0	12.8	16.2	20.8
米の生産量が減少しているから	5.7	4.3	5.5	13.5	12.5
現在の米の値段を高いと感じていないから	3.8	2.6	6.8	2.7	8.3
その他	2.5	2.0	2.6	2.7	25.0

VII.米の生産者に期待すること

- ・米の生産について、今後生産者に期待することは、「より安心・安全な米の生産が行われること」(51.2%)が最も高く、次いで「よりおいしい米の生産が行われること」(31.9%)、「米不足にならないよう生産量を増やすこと」(29.0%)の順となった。
- ・年代別では、「より安心・安全な米の生産が行われること」および「気候変動に耐性のある品種や栽培手法の開発・栽培が行われること」は、おおむね年代が高くなるほど割合が高い傾向となった。



VII.米の生産者に期待すること

- 令和6年8月以降の価格上昇に対する考え別では、『価格上昇は受け入れられない』を選択した方は「より効率的で低コストな生産が行われること」が最も多く、それ以外を選択した方は「より安心・安全な米の生産が行われること」が最も多くなった。
- 次いで、『大きな影響はなく気にしていない』、『価格上昇は厳しいが納得している』を選択した方は「よりおいしい米の生産が行われること」が多く、『価格上昇には納得していないがやむを得ない』、『価格上昇は受け入れられない』を選択した方は「米不足にならないよう生産量を増やすこと」が多くなった。

【価格上昇に対する考え別】

(2つまで回答/「米は食べない」と回答した方以外、%)

	大きな影響はなく気にしていない	価格上昇は厳しいが納得している	価格上昇には納得していないがやむを得ない	価格上昇は受け入れられない
より安心・安全な米の生産が行われること	48.7	61.4	50.3	34.0
よりおいしい米の生産が行われること	43.2	41.0	26.9	18.9
米不足にならないよう、生産量を増やすこと	17.6	24.8	34.0	34.9
より効率的で低コストな生産が行われること	16.1	16.4	29.8	37.3
気候変動に耐性のある品種や栽培手法の開発・栽培が行われること	14.7	21.0	18.5	17.0
環境に配慮した栽培手法による生産が拡大すること	7.7	10.8	7.0	3.8
その他	11.7	3.8	8.0	16.0
期待することは特にな	0.4	0.4	1.5	3.3

【米を食べる頻度別】

	1日3食	1日2食	1日1食	2～3日に1食	週に1食以下
より安心・安全な米の生産が行われること	54.7	52.8	49.0	45.1	40.0
よりおいしい米の生産が行われること	34.8	31.0	33.2	23.5	26.0
米不足にならないよう、生産量を増やすこと	27.0	31.2	26.9	29.4	30.0
より効率的で低コストな生産が行われること	20.4	26.5	23.8	31.4	14.0
気候変動に耐性のある品種や栽培手法の開発・栽培が行われること	15.3	19.4	19.1	17.6	30.0
環境に配慮した栽培手法による生産が拡大すること	9.3	8.0	6.7	12.7	8.0
その他	9.0	6.5	10.8	6.9	12.0
期待することは特にな	1.8	1.4	0.8	2.9	0.0